草津市多文化共生推進プランの総括

資料３

基本理念	お互いの違いを認め合い　共に支え合う　誰もが幸せを感じる多文化共生のまち　草津

基本方針	施　策	成果と課題
コミュニケーション支援	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備	■成果 外国人住民にかかる書類の多言語化を進めるとともに、「やさしい日本語ガイドライン」を策定し、ガイドラインをもとに職員向け研修を実施することで、各担当窓口でやさしい日本語によるわかりやすい説明や対応につなげることができた。また、通訳職員の配置や多言語対応が可能な多言語通訳端末の運用などの相談体制の整備により、外国人住民への適切な相談対応、情報提供を行った。 ■課題 外国人住民が生活をする上で必要となる行政情報や生活情報が行き渡るよう、情報提供の充実のための検討・見直しを行う必要がある。
	日本語教育等の推進	■成果 草津市国際交流協会が実施するやさしい日本語サロンや日本語教室への補助により、日本語の学習機会や交流の場を提供し、日本語教育の推進につなげることができた。また市内の日本語教室について、関係団体間での情報共有や必要に応じた外国人住民への情報提供により、日本語の学習機会の提供につなげた。 ■課題 出入国管理庁において多言語による生活オリエンテーション動画は提供されており、基本的な生活ルールについての説明はあるものの、草津市に在住する外国人のニーズにあわせた市独自の生活に関するルールや情報等のオリエンテーションや周知の手法について検討する必要がある。また、日本語学習希望者への日本語教室等の情報提供や情報発信の手法について検討する必要がある。
生活支援	教育機会の確保	■成果 児童生徒本人や保護者の実情に合わせた就学案内や多言語での情報提供を行った。また、学校に通訳を派遣し、学習支援や進路指導を行った。国際交流活動を通して、児童生徒と留学生等との交流を図り、多文化への興味・関心の広がりや多様な価値観を認め合う国際理解教育を行うことができた。 ■課題 日本語の理解が十分でないことから、学習内容の理解や学校生活に困難が生じている。日本語指導教員の配置時間数が少なく、日本語があまり話せない児童生徒への更なる支援が必要である。外国にルーツのある児童生徒等が気軽に集まり、日本語や日本文化等について学ぶ場所がなく、日本語の習得や友人づくりに課題を抱える児童生徒がいる。
	働きやすい労働環境の確保	■成果 市内事業所に対して外国人を含む公正採用・人権啓発を行った。また、就労について、外国人住民が相談に来られた際には、必要に応じて通訳職員や多言語通訳端末を介すなど、状況に応じた対応ができた。 ■課題 職場での同僚との円滑なコミュニケーションのための支援や職場理解のための取組が引き続き必要である。
	災害時の支援体制の整備	■成果 外国人住民の防災意識の向上のため、機能別消防団員が防災講習やイベントに出動するなどの防災啓発活動を行った。また、防災ハンドブックやハザードマップ、避難所での表示を多言語で提供した。外国人住民の支援のため、機能別消防団員の充実やボランティアの育成・支援を行い、災害時に外国人住民が安心して避難できる環境の整備を行った。 ■課題 引き続き、職員および住民への災害時の外国人支援および外国人住民の防災意識の向上のための普及・啓発を継続する。
	医療・保健・子育て・福祉サービスの提供	■成果 多言語対応の健康診断案内リーフレットの配布や多言語対応可能な医療機関の情報提供を行った。各分野の窓口において、外国人住民からの相談に対し、通訳職員や多言語通訳端末を介すことにより、相談体制を整えるとともに、必要に応じて関係課や関係機関につないだ。 ■課題 出身国と日本の制度の違いについて、十分理解ができるよう、引き続き丁寧な対応が必要である。
	住宅確保のための支援	■成果 市営住宅入居のしおりの読み仮名の記載ややさしい日本語、英語版を作成するとともに、市営住宅の制度案内等、窓口においてやさしい日本語や通訳の利用により居住支援の充実に取り組んだ。また、県が実施する居住者支援において関係部署と情報共有を行った。 ■課題 外国人だからという理由で住居探しに困難が生じないよう、引き続き外国人住民への支援等が必要である。
多文化共生の地域づくり	多文化共生の意識啓発・醸成	■成果 多文化共生、外国人の人権、やさしい日本語の活用等、外国人と日本人の双方にとって住みよい地域づくりに必要な内容について、研修や啓発教材に取り入れ、意識啓発に取り組んだ。また、外国人住民と日本人住民が気軽に集える交流機会の提供や国際交流イベントなどにより、相互交流や異文化理解の促進に取り組んだ。 ■課題 より多くの人に多文化共生の意識啓発や、多文化共生にかかるイベントの情報が行き渡るよう、情報発信の手法を検討する必要がある。
	外国人住民の社会参画支援	■成果 多文化共生に関する講座やイベントに講師やスタッフとして取り組む人材やコーディネータの育成に取り組んだ。また、機能別消防団員に地域のイベントや市のイベントにも積極的に参加してもらうことで、機能別消防団の周知や充実に努めた。地域での外国人住民との交流イベントを通じてまちづくりや地域社会への参画を促進した。 ■課題 地域住民と外国人住民の交流の場の更なる創出が必要である。また、そのようなイベントやコミュニティの情報提供の充実を図る必要がある。
	外国人留学生等の能力を活かした地域活性化	■成果 外国人留学生に地域イベントへの参加を促し、外国人留学生と地域住民とが交流できる場を提供した。また、外国人留学生に地域のイベントの運営等への参画を促し、語学力や国際感覚等を生かした地域の活性化等に貢献できる環境を整えた。 ■課題 イベントへの参加者やイベント運営への参画者が増えるような取り組みを検討する必要がある。